

□ **巻末資料Ⅱ（陸前高田市 高田第一中学校の避難所運営の記録）**

東日本大震災時に一般避難所として機能した陸前高田市 高田第一中学校の避難所運営の記録をとりまとめたものである。

陸前高田市
高田第一中学校避難所運営の記録

＜ 目 次 ＞

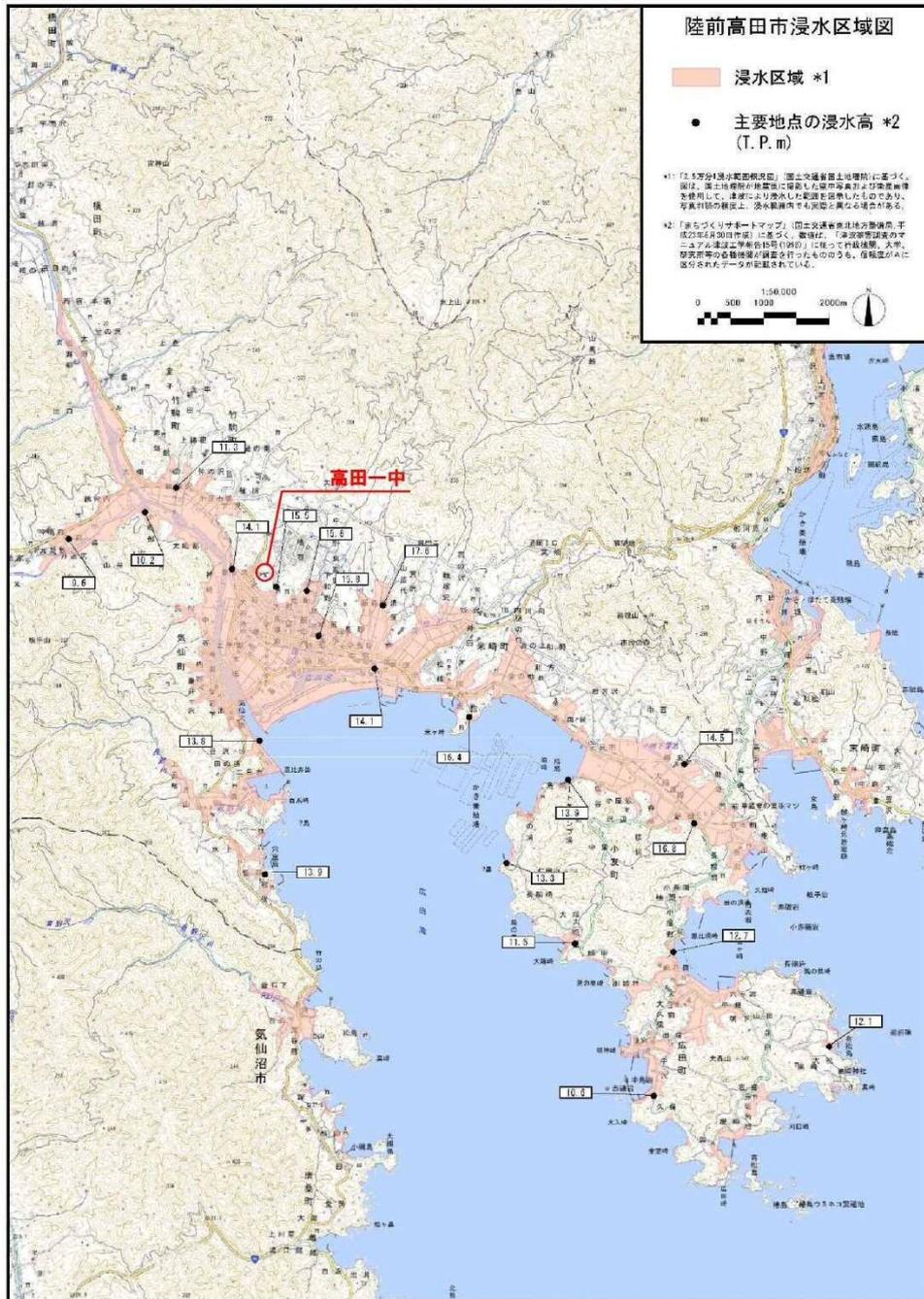
1. はじめに.....	1
2. 地震発生後の状況.....	3
(1) 地震発生からの主な経緯.....	3
(2) 震災直後の避難者数の推移.....	3
3. 生徒・教職員の状況.....	4
(1) 震災発生時の生徒、教職員数.....	4
(2) 震災発生時の生徒の状況.....	4
(3) 生徒の安全確認等の経緯.....	4
(4) 学校、生徒保護者の被災状況.....	5
4. 地震発生以降の避難所の状況.....	6
5. 避難所の運営.....	12
(1) 避難所組織表.....	12
(2) ボランティア体制.....	14
(3) 教室割当の状況.....	15
(4) 避難所運営で気づいた点や検討事項.....	19
(5) 避難所自治・コミュニティ形成への呼びかけ.....	25
(6) 避難所「絆の丘」の体制や運営規則.....	28
6. 今後の課題等.....	47

1 はじめに

陸前高田市は2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波で市街地のほとんどが壊滅的な被害を受け、死者・行方不明者数は2千人を超え、県内で最も多くの被害を受けた。

高田第一中学校では、3月11日の午前中、新しい体育館の落成式が行われ、生徒、先生、保護者、地域の方がその完成に喜び、真新しい体育館が教育拠点や地域拠点としてスタートするところであった。そして午後、全校生徒で卒業式の練習を行っていた14時46分、東日本大震災が発生。幸いにも高台にあった高田第一中学校は津波の被害を免れ、真新しい体育館を含む学校施設が市内最大の避難所となった。

この記録は、高田第一中学校の佐々木校長が保管されていた避難所関係資料を再整理し、当時の状況や今後の課題等について復建調査設計㈱がとりまとめたものである。



本図は、国土交通省国土地理院 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震対策(5万分1)浸・気仙沼市)を使用して作成したものです。

▲ 位置図

2 地震発生後の状況

(1) 地震発生からの主な経緯

- 3月11日 午前 体育館の落成式
午後 全校生徒で卒業式の練習
東日本大震災発生(14時46分)、市内最大の避難所となる
- 3月14日 電気が一部復旧
- 3月15日 教育委員会メンバーと市内校長と合同会議（教育委員会も被災し多数が死亡。教育委員会が全く機能していなかった）
- 3月17日 auの携帯電話が使用可能となる
- 3月19日 NTTドコモ基地局が開設。仮設住宅約200戸をグラウンドに建設開始
- 3月27日 自衛隊のマイクロバスによる入浴・洗濯サービスを開始
- 3月31日 3年生に卒業証書を授与（3年生のみ出席）。1、2年生の登校日とする
- 4月1日 第一中学校の仮設住宅が完成
- 4月9日 第一中学校の仮設住宅への被災住民の入居開始
- 4月22日 自校舎を使用して2011年度を始業
- 4月23日 陸前高田市立矢作小学校にて入学式を挙行
- 5月1日 第一中学校を「絆の丘」という名称で、避難所の自治会組織が立ち上がる
- 8月4日 1学期が終業
- 8月12日 避難所の閉鎖

(2) 震災直後の避難者数の推移

- 3月14日 ; 1,250人
- 3月31日 ; 1,850人
- 4月24日 ; 1,120人
- 5月31日 ; 528人
- 6月29日 ; 297人
- 7月25日 ; 189人
- 8月4日 ; 93人
- 8月12日に避難所閉鎖

※避難者数は岩手県災害対策本部資料より

3 生徒・教職員の状況

(1) 震災発生時の生徒、教職員数

- ①生徒数；298人（男178人、女120人）
 - 1年生115人（男74人、女41人）
 - 2年生80人（男46人、女34人）
 - 3年生100人（男56人、女44人）
 - 特別支援3人（男2人、女1人）
- ②教職員数；教員26名、職員35名

(2) 震災発生時の生徒の状況

- ①震災時の子どもたちの様子
 - ・大きな地震が起きた時は、体育館にいたのでほとんどの生徒職員は座り込んだ状態であった。
- ②子どもたちの安全を確保するための避難指示
 - ・地震の揺れが少し落ち着くのをまち、通常避難訓練をしている第一避難所（校庭）に避難をするように指示をした。上着を持たずに避難したため、寒さが厳しくなった。しかし、校舎の安全が確認できないので、学年一人の先生が中に入り、ベランダから生徒の上着をおろし、生徒に上着を着せた。
 - ・津波が来たことを確認したことと、たくさんの避難者が来たので教室に移動をするように指示をした。
- ③下校や保護者への引き渡し
 - ・原則的に全校生徒・職員は泊まるように指示をした。しかし、震災の影響を受けていない保護者が来校し、生徒の引き取りの要望があったため、
 - ・行き場所と通路が安全であること。
 - ・信頼できる保護者であること。
 - ・落ち着く場所の特定と連絡方法が確実に出来ること。
 - の3点が確認できた生徒から下校を認めることとした。

(3) 生徒の安全確認等の経緯

- ・生徒の引受先の確保（保護者の安否確認）
 - *107名/298名が学校（避難所）で一夜を過ごす…学年ごと男女別で教室へ
 - *引受先未確認生徒（翌日）12名/298名…3/25（金）引受先全員確認
- ・欠席及び早退生徒の安否確認[3/13（日）確認完了 震災・津波から2日目]
- ・3/16（水）家庭訪問（避難施設訪問）…「震災の生活に関する調査」用紙の配布と聞き取り
- ・登校日①[3/25（金） 震災・津波から2週間後]…「これからの生活に関する調査」用紙の配布
- ・卒業証書授与と登校日②[3/31（木） 震災・津波から3週間後]…学習課題の提示

(4)

- ・登校日③[4 / 7 (木) 震災・津波から 4 週間後]
- ・登校日④[4 / 1 4 (木) 震災・津波から 5 週間後]…始業式[4 / 2 2 (金)]の日程確認

(4) 学校、生徒保護者の被災状況

①学校関係

地震のため 1 教室の壁崩落 校舎のつなぎ部分の破損とコンクリート部分の亀裂
取り付け道路の亀裂

津波のため 校内看板流出

職員家族死亡・行方不明：4 名

職員家屋：流出全壊・半壊 13 軒

②生徒保護者関係

生徒：3 名死亡（当日欠席生徒）

保護者死亡・不明：両親 9 名、父親 24 名、母親 24 名

生徒家屋：流出全壊・半壊 157 軒

4 地震発生以降の避難所の状況

資料；校長メモ(3/11)、報道機関発表メモ(3/16 まで)、避難所動向資料(3/17 以降)より

【3月11日 当日】 ※校長メモより

あの日は、本校の新体育館の落成式でした。午前中、関係者みんなで喜びに沸いた体育館がその日の午後が避難所になるとはだれが想像したでしょう。

本校は市の防災計画で避難所に指定されていました。そのことを受けて設計段階から防災用品等を収納しておくスペースを作ってほしいと要望をしていたのですが、出てきた設計には入っておりませんでした。しかし、今後予想される大災害に備えて、是非必要であると設計変更をお願いしていました。そうしたところ、ステージ下にわずかながら収納スペースを作っていたいただき、落成式が終わったら、旧体育館にあった備品と共に防災用品を準備しようとしていた矢先のことでした。

その体育館での卒業式の練習を終えようとしていた14時46分、立ってられないほどの激しい揺れが襲ってきました。出来たばかりの体育館の梁は大丈夫だろうかと天井を見ながら揺れの落ち着くのを待ちました。少し落ちついたところで全校生徒を校庭に避難させました。

校庭に集合し余震の落ち着くのを待っていると、遠くから「ゴーッ」という何とも表現できない音がしてきました。海の方を振り向くと、黄色い煙が上がっていた。そして次々と避難する車が校庭に上がってきます。その時、「津波だ」と思い、すぐ校庭の端に走り、町を見ると信じられない光景が広がっていました。高田の街がすべて流れていくのです。現実感はなく、まるで映像を見ているようであった。そのうち遺体も運ばれてきました。

この状況を生徒に見せたくないと思ったのと、避難者がどんどん増えてきたので、生徒たちを校舎に避難させました。見た状況から「今日の帰宅は難しいだろう」と思い、学年ごと、男女別に教室に入れた。教職員には、「担任は生徒の掌握をし、副担任は避難者や避難場所の手伝いに回るように」指示しました。生徒を引き取りに来た保護者には、安全確認と帰宅先の確認をしてから帰すよう指示を出し、この日のうちに二百人ほど帰りました。

その後、生徒、教職員のことは副校長にお願いし、私（校長）は避難所の立ち上げに入りました。

一般の方の避難所を体育館とし、避難所本部を出入りしやすい家庭科室としました。校長が当面の本部長となり、集まった警察・消防・自治会代表の方々と、食料、電気も無い中で、千二百人にもものぼる避難者をどうするか協議しました。水は給水タンクにあるだけで、普通に使用すれば半日しかもたないので一人コップ半分と決めました。避難してきたローソンの配送車が積荷を全て避難者へと降ろしてくれたので、その中から弁当を、小中学生中心に二～三人で1つ配給しました。大人たちはコップ半分の水だけです。わずかな枚数の毛布は、病人や乳幼児に分け、他は学校中のすべてのカーテンを外して寒さを凌ぎました。そんな中、重機が運ばれ、穴を掘ってベニヤを回し、仮設トイレを作ったのには驚きました。

これからどうなっていくのか、全く見えない中で、家族の安否を思いながら、眠れぬ夜が過ぎていきました。

(6)

【3月11日 晴れ】

午後4時から5時にかけて続々と近隣住民らが体育館へ避難。その後、避難者（家族単位）を市の行政区単位に集めて名簿作成をスタート。学校の給水タンクに2000リットルほどの水があり、被災者へコップ1杯ずつ配布した。この日の食事はこれだけだった。

夕方から地元の共和建設から木材提供を受け、ボランティアがトイレ8基を設置。

暖房器具はダルマストーブが2つほどで、夜には校内のカーテンを取り外し、毛布代わりにして就寝。学校の備蓄用ロウソクを教室や通路に置いて照明代わりとした。避難者数は約800人。

【3月12日 晴れ】

朝食用に住田町とローソンからオニギリが届けられ、避難所で初めての食事となった。

発電機を稼働させ、ブルーヒーターで暖をとり始めた。学校には安否確認の人々が多数集まりだした。避難者数は約1250人。

【3月13日 晴れ】

食事は朝食がオニギリで、夕食はアマタケの鶏肉。仮設トイレを6基増設。東北電力が夜から電力復旧に向け作業を開始。避難者数は約1000人。

【3月14日 晴れ】

未明に電気が一部復旧。食事が3食になり、オニギリやパンが支給される。避難者数は約1000人。

【3月15日 雪】

仮設トイレの当番制（行政区単位）がスタート。炊き出しも朝から始まる。避難者数は約1000人。

【3月16日 雪】

仮設トイレが40基増設され、初日に設置した木造トイレを解体（合計46基に）。校内の音楽室を幼児の遊び場に開放。小中学生ボランティアに遊び相手になってもらう。

※緊急に必要な物資＝燃料（ガソリン、灯油）、衛生用品、下着、トイレットペーパー、マスク

【3月17日】

7時40分からラジオ体操を開始。習慣づけたい。

仮設トイレ更に搬入（他避難所への移動分）。

昼頃にKDDIの職員が来校。車載型中継基地局を設置。しかし、カバー範囲の都合により、一時撤去。市内の避難所「サン・ビレッジ高田」に移設。作業終了は午後9時頃。auに関しては携帯電波の使用が可能になる。

個人から5缶、奥州市前沢地区より40缶程度、灯油の救援。

深刻な燃料不足のため、遺体安置所への交通手段がない避難者が多い。

(7)

【3月18日】

朝、市から「広報りくぜんたかた」が発行。概要は黙祷の告知、避難所一覧と避難計画FAQなど。

近隣地区（住田町世田米、大船渡市）ガソリンスタンドで給油業務再開。

昼食は救援物資からカップラーメン。インスタント食での水の消費テスト・物資の保管場所確保も兼ねる（箱がかさばる等）。

14時46分。地震発生よりちょうど1週間。各地避難所で黙祷。当避難所では告知はせず、各自対応。

校庭でプレハブ建築の作業開始。駐車中の自動車の移動を行う。

中国からの研修生19名、無事帰国の途へつく。

救援物資の搬入に使用されたマイクロバスをご厚意で提供いただき、遺体安置所への輸送を行う。諸事情により予定していた2本は運行できず1本になった。

【3月19日】

18日夜の時点で入り口に防犯啓蒙をかねて受付時間の掲示を行う。

周囲にも不審者の情報が流れてきている為、各避難所に対策連絡を行っている。

18日にご協力いただいたマイクロバスが本日広田地区方面に向かわれるそうなので、帰りに下矢作方面まで片道でも、という条件付きではありますが運行していただける模様（予定）。

本日よりプレハブ建築作業が開始される。

7時10分頃に docomo 職員来校。設置場所を確認次第移動基地局の設営にはいるとのこと。8時40分頃に、校庭に docomo 基地局の開設完了。

医療ボランティアの方を搬送して来たマイクロバスを提供していただき、一中から安置所への臨時バスを運行開始。本日に限ってはピストン輸送していただける模様。

昼前に docomo の基地局が一旦移動との報（11時55分頃に停波を確認）。移設先は市給食センター内災害対策本部。確認を取ったところ、「撤収に1時間+設置1時間強」と伺ったので15時前後には復帰するかと思われる。

葛巻町より炊き出し部隊が到着、昼食の炊き出しとして2,000食分のひつつみ（すいとん汁）、葛巻産の牛乳が振る舞われる。

14時20分。アマチュア無線協会の方が来校。無線設備の設置及び利用ができるとのこと。こちらに直接来られていたため、災害対策本部に案内。

15時前後に docomo の電波復帰。しかしながら地形の都合か敷地内での電波感度は良くない。

16時35分頃、奥州市役所の方が来校。救援物資をおろした後に奥州市までの片道便を出していた模様。20日15時をめぐりに最大35人の枠。現在希望者を募っている。

夜MTGで広田方面に向かった物資担当から報告あり。末端までの物資が行き届いていない状況がある。

津波の被害に遭わず被災認定されていない世帯についての、援助物資の供給がなされていない。また、被災者を受け入れている個人宅にも同様に援助物資が行き届いてない。加えて情報の伝達手段が無いことにより、報道などで周知されている大型避難所（例：一中）に被災者が集中している状況が

(8)

発生している模様。

大型避難所へ物資が集中してしまうと、末端までの輸送が滞ること、どちらの場合でも原因となるのは「燃料供給の不足」につながるのではないかと。

【3月20日 曇りのち雨】

高田出身の画家で被災者の驚愕太郎氏の絵が20～22日の3日間国立美術館で展示。氏の作品は今回の震災により、展示される1点を除き全て失われてしまっている。

8時30分頃自衛隊の方来校。救援物資の希望聞き取りを行う。

報道機関の方向けの取材ガイドラインを掲示。

インフルエンザ患者増加。昼現在で3名（A型2名B型1名）に。

衛生面管理強化。ポリタンク利用の手洗いから流水での手洗いに変更。うがいの周知。

一部対象に洗濯開始。初日は乳幼児室から4人、高齢者6人、その他10品ほど。

昼食は炊き出し。おにぎり、豚汁、漬物、ゆで卵、ドーナツ。1時から配布予定。

当告知担当者が自宅に置いてきた財布が見つかって届けられる。

海外の報道関係の方への通訳を探していたところ、ボランティアの方の協力により円滑に行われる。

各所の復旧に伴って本部から抜けていくスタッフの引き継ぎが各部門で発生中。専門職の方から被災者の方への移行が進んでいる。

市主導で明日から身元確認会場へのバスが運行される。1日3便。

【3月21日 曇り】

身元確認のための定期バス運行開始。

日赤盛岡病院への患者輸送に利用しているバスの空席を利用した定期便が運行中。毎日9時発。最大定員49名。

20日の水の配給が滞っていたため、残量に余裕がない。枯渇の危険あり。

午前中に単発の救援物資として大阪市水道局より飲料水到着。今日日中の枯渇の心配は（おそらく）なし。しかしながら明日以降の補給予定は未定。依然として状況は良くない。

スタッフ間でも疲労の色が濃い。踏ん張りどころ。

物資の数量確認のため棚卸実施予定。スタッフ召集中。→一部物資から開始。

インフルエンザ患者の増加は現時点でなし。

乳幼児室の本日昼までの人数。大人34人 乳児26人 幼児2人。

水の補給は安定。大阪と奈良の水道局さんの給水車両で明日以降も手配していただけるとのこと。

【3月22日 曇り時々雨か雪】

棚卸引き続き実施。物資の配給表等も作成中。管理面での強化。

合格発表の日。各生徒への通知は25日の登校日に行う。

炊事班その他でお湯の手配に困るので状況管理を。

食事の時間変更 7:30、12:00、18:30に変更予定。23日から。

明日炊き出し。今日打ち合わせの予定。

(9)

本日より自衛隊の風呂提供。本日中に7便ある。高齢者優先の配分。二回目以降は未定。
あんべ光俊さん来校調整中。
視聴覚室の要介護高齢者の方関係のスタッフ拡充。県からの派遣。
共和建設提供の仮設風呂完成。定員15人の2槽。ボイラーで沸かしている。現在テスト中だが、
24時間開設可能。自衛隊の風呂提供に入れなかった人を優先フォローしたい。
乳幼児室にパーティションを設置。体調が悪いお子さんを分ける。
1B保険関係支援チーム室として利用。カーテンで仕切って各部署スペース作成。同教室で佐藤さん吉田さんの2名が精神面でのケアサポートをしていただける。10時から15時30分まで。三月
いっぱいには確定、来年度は未定。
13時30分から洗濯実施予定。人数その他は希望者を見つつ調整。
KDDIさんがau携帯に関する相談窓口開設。
自衛隊の風呂提供、予想外に快適。人数殺到するわけでもなし。
個人宅での被災者からの要望が増加中。食料と水に関しては本部登録して配給を受けてほしいとのこと。

【3月23日 曇り時々晴れ一時雪】

食料配給等々の救援物資状況が判明。全体的に減少傾向。当避難所でも食事回数の調整を行う必要が出てくる可能性あり。

自宅避難者への物資配給が十分ではない。当避難所からも物資を出したいが、入ってくる数自体が減少しているため難しくなってくる可能性あり。

水供給は安定している。

中越から被災時のノウハウがかけられたマニュアルが救援物資と同時に届く予定。

津波に飲まれて動作が停止した掛け時計が見つかる。

洗濯実施。場所が安定したので利便性の向上を図りたい。

床屋サービスをご厚意で提供していただく。体育館正面入口側エントランスにて（正面玄関は封鎖中）

各県の保健所からの救援物資内にぬいぐるみ等確認。遊戯室に配置したい。

サンブレッジ高田に避難している方が勤務しているガソリンスタンドにご協力いただき、ガソリンの優先配布券（3000円分・実費）を抽選で配布。

【3月24日】

中越の被災チームからのマニュアルが届く。行政のがっちりしたものはのちほど担当者にメールで送付。

物資担当より連絡。現状は以下

現在の食糧備蓄は1200人分程度。避難所内部と周辺区域への配布で実際は1400食出ている。

時間経過とともに物資の供給量が低下してきている。

拠点避難所と末端の避難所との差が大きくなっているため、末端避難所からの供給を受けられない自宅避難の被災者が拠点避難所への移動も始まっている。

(10)

各避難所との情報伝達も悪く、ここから送れるものは送りたいがここからでは細かい状況は把握できていない。

食料品は、自炊できる避難所が限られているので、現状ではインスタント類やパン類の方が好ましい。

本日の床屋サービスは 13 時 30 分から。

前沢温泉招待ツアー（仮）受付中。前沢商工会からのお話。全 150 名、2 便。軽食付き。

食事についての詳細状況を担当者から得る。物資の木供給が改善されない状態が続く場合、段階的
一日二食にシフトしていく予定。

5 避難所の運営

(1) 避難所組織表

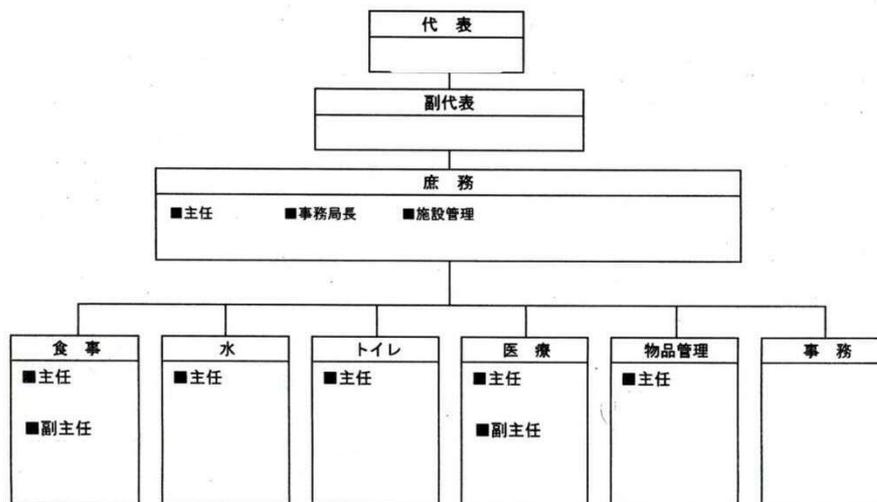
【3月11日】

震災直後は校長が避難所運営の代表となる。ただし、学校が始まった場合のことも考え、3月12日からは本部長を市の商工会議所の代表になってもらい、校長は副代表となった。また退職された前校長にも副代表として対応してもらおう。

【3月16日】

高田第一中学校避難所 組織表

3月16日現在

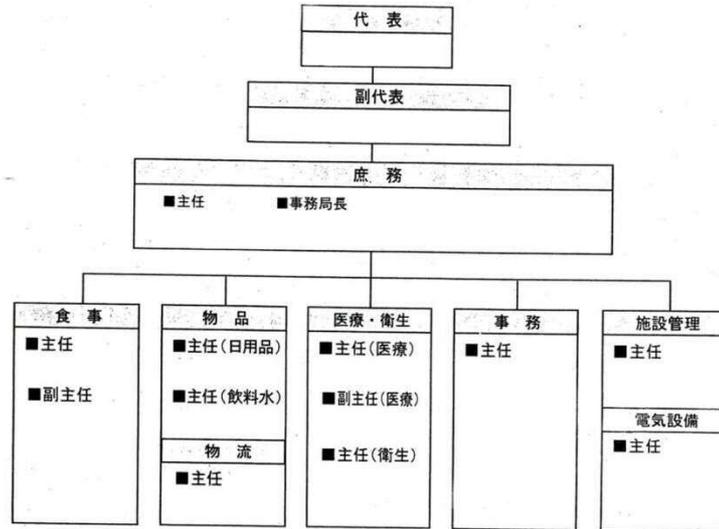


(12)

【3月17日】

高田第一中学校避難所 組織表

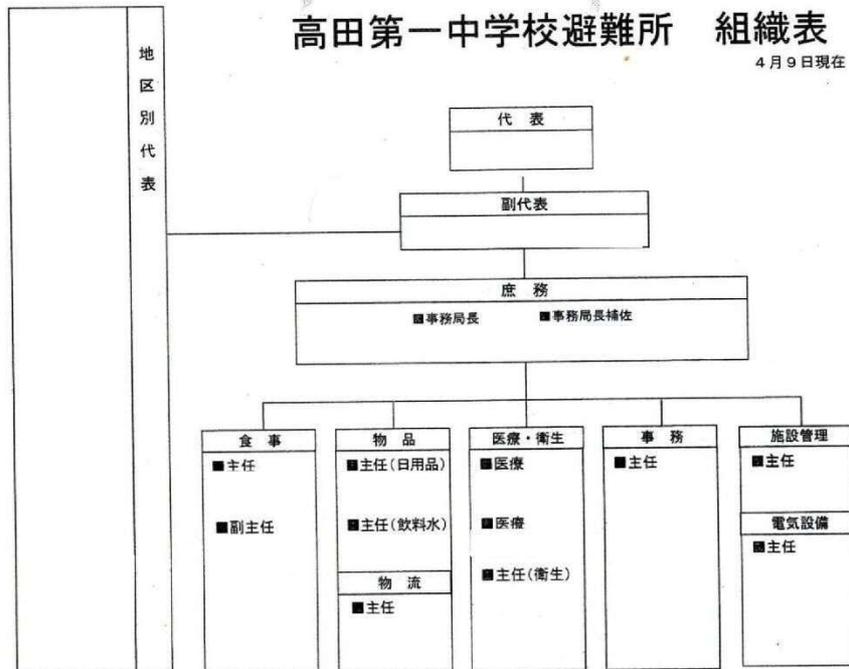
3月17日現在



【4月9日】

高田第一中学校避難所 組織表

4月9日現在



(13)

(2) ボランティア体制

平成23年4月13日

ボランティア調査実施結果報告書

事務・庶務

21名

1日必要人員18名 $21 \div 18 =$ 「1班体制」

対策：作業を兼務して、人数削減。ならびに「衣類の管理」を夜中にして、夜しか出れないとボランティアを断った方々に、片付けを対応してもらおう事で、1日必要人員を10名に削減し、2班を構成する。

食 事

64名

1日必要人員15名 $64 \div 15 =$ 「4班体制」

給水湯・環境施設

20名

1日必要人員 3名 $20 \div 3 =$ 「6班体制」

物資・物流

34名

1日必要人員21名 $34 \div 21 =$ 「1.5班体制」

対策：搬出・入作業人員を必要な時に呼びかけて、足りない人員を確保することで、2班体制を構成する。

保健・衛生

10名

1日必要人員 6名 $10 \div 6 =$ 「1.5班体制」

対策：作業を兼務して、1日4名体制をとる事で、2班体制を構成する。

(3) 教室割当の状況

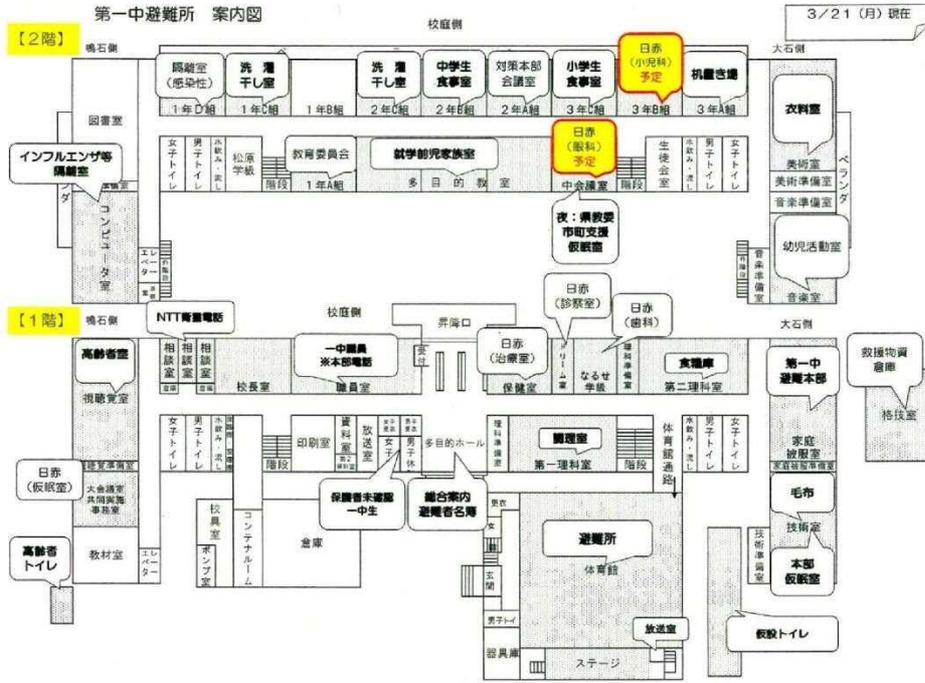
被災直後、いつまで避難所として学校施設が利用されるのか見当もつかないまま、各教室利用の決断をしなければならない状況であった。一般の方の避難所を体育館とし、避難所本部を出入りしやすい家庭科室とした。

※教室の割当等については、以下の方針とした。

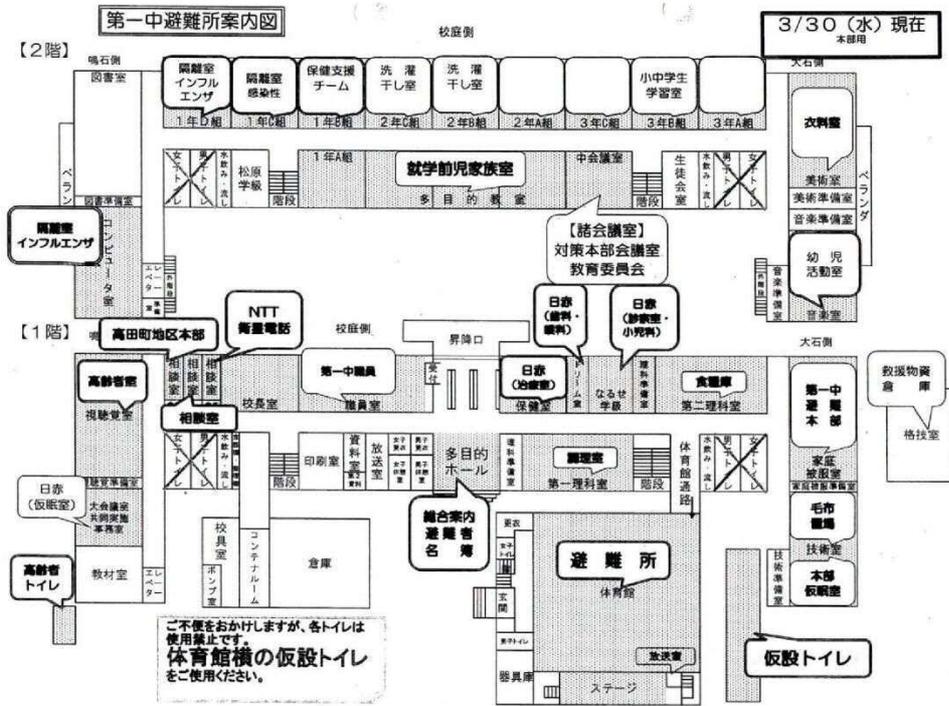
- ・ 外を見渡せて、水、ガス、棚があるため家庭科室を防災本部にした。
- ・ 介護が必要な人はトイレに行くのが大変で既存のトイレに行かれないため、視聴覚室の一角にトイレを作りその周りに介護が必要な人を集めた。
- ・ 泣き声が周りの避難者のストレスとなるため、就学前の3、4ヶ月の赤ちゃんの為に一般避難者と別の教室を用意した。
- ・ 保健室を病院エリアとした。
- ・ 物資エリアとして、医療品（美術室）、食料、毛布（技術室）を用意した、調理場（理科室）を用意した。格技場を倉庫とした。
- ・ 給食室に市の対策本部ができたが、この避難所の運営に関してはこちらで任されていた。
- ・ 酒を飲む人の為にブルーシートで小屋を造った。
- ・ 避難所の人の中には壁に穴を開けたいと言ってきた人もいたが、いずれ普通の学校に戻ることを考え断った。
- ・ マスコミに取り上げられ支援物資が学校に届くようになったが、とても量が多く、高田第一中学と限定して送られて来た物資以外市の対策本部に渡していた。
- ・ 学校の備品等をわかっているのは教職員なため、教職員は常に聞かれ対応した。
- ・ 体育館を地域ごとに区割りした。
- ・ 落成式の日であり卒業式も近かったため、体育館の床にシートが敷かれていた。当初は土足だったが、3日後の天気は雨の予報であり土足禁止を本部に要請した。避難所の人の理解もありその日から土足禁止になった。
- ・ 柔剣場の畳を持って来て敷いた。
- ・ 避難の配置は刻々変わっていき、学校の再開後は保健室の上が物干し場にした。
- ・ インフルエンザが流行ると隔離室を設けた。
- ・ 多目的教室を就学前の子供の場所としていたが、床が絨毯であったことと人数によってアコーディオンで3つに仕切れたことが役に立った。
- ・ 理科準備室で食材の保管をしていた（劇物の隣だった）。

また教育委員会から学校再開のめどとする期日が出され、授業時数や進度のことを考え実施日を4月22日と決断。避難所としての学校の中で、避難所の代表と教室を開けていただくようお願いし、避難所の方からも快く空けていただく。体育館に1500人も避難しており、もし校舎まで一般の人が避難所として使っていたら、学校の始業は1学期遅くなっていたと思われる。

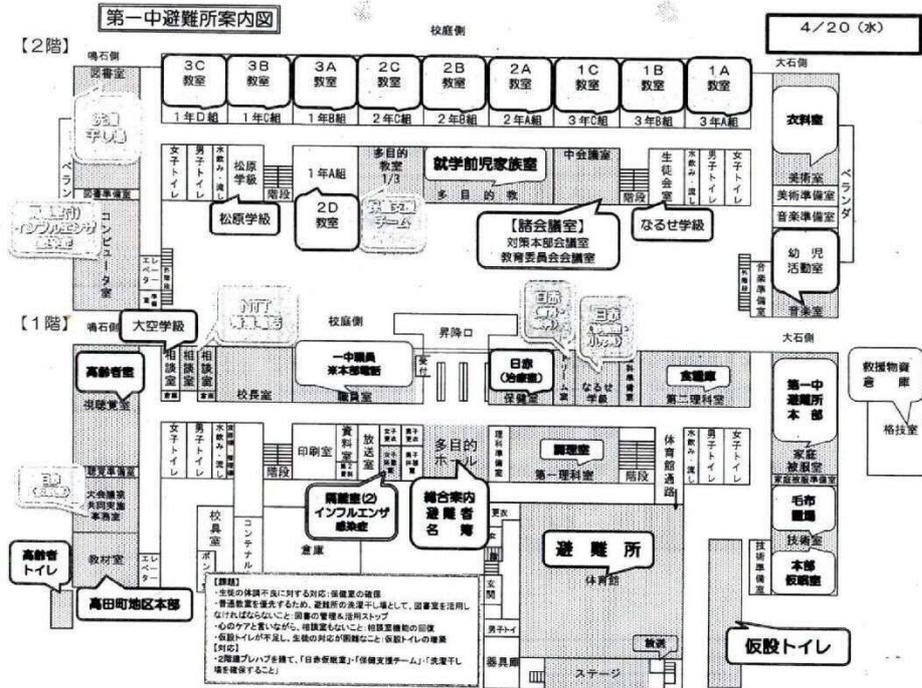
【3月21日】



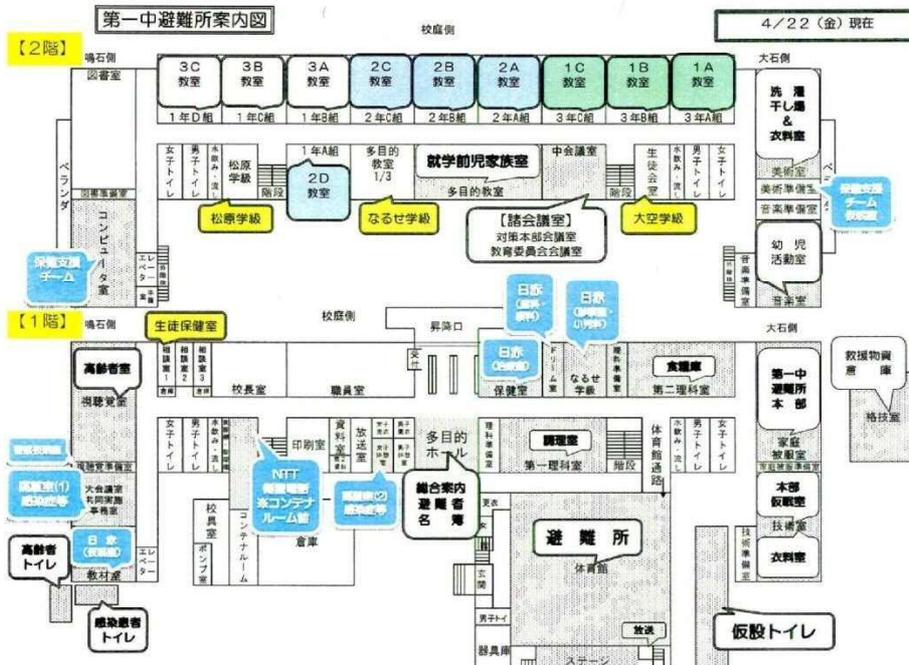
【3月30日】



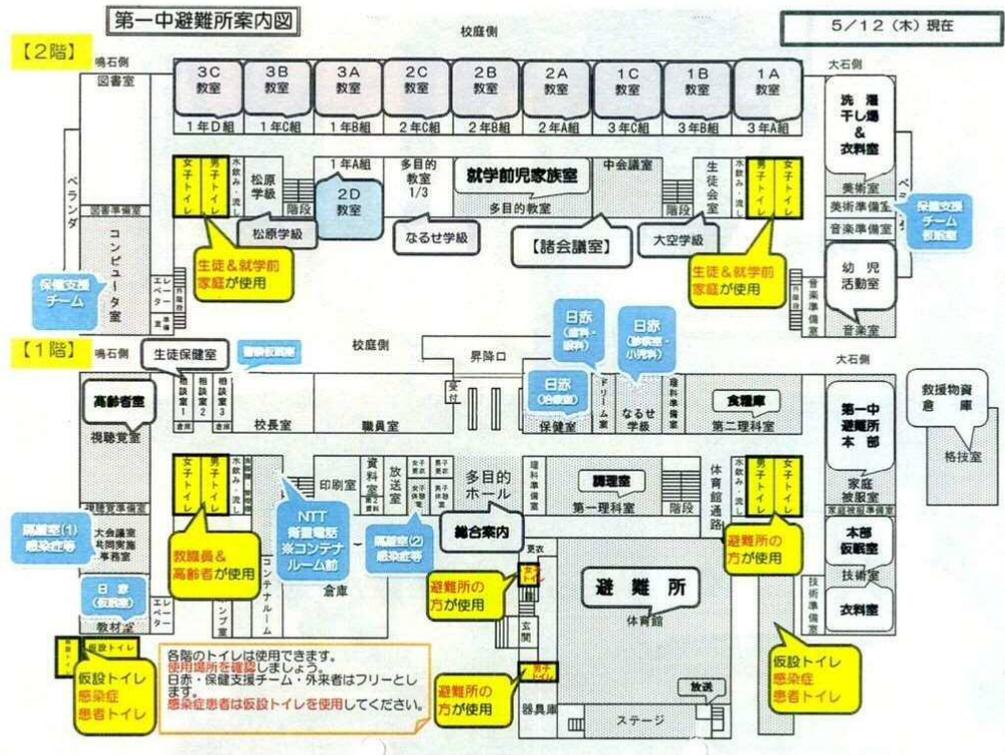
【4月20日】



【4月22日】



【5月12日】



(4) 避難所運営で気づいた点や検討事項

避難所を管理運営する面で、当時どのような事に気づき、検討していたのかについて、避難所運営に携わった方のミーティングメモから整理を行う。

【3月13日ミーティング PM7:30~】

朝食 8:30予定。

明日分の在庫は十分にある。

全体を見ると避難者の数は昨日に比べて減っている。

食べ物が無くなっている方々が食料をもらいに集まってきている傾向がある。体育館には滞在せず

に。

- 区分けが機能していない。
- 毛布のアナウンスをしても効果が見られない。明日、撤去を考えるのも。
- 自分でもってきている避難者もいるので撤去はできないかも。
- 毛布をとりあげると、反発が多い恐れがある。
- 1枚取っていった方が、実は2~3枚も持っていつている感じが見られる。
- 日赤から提供されると思われる毛布は、ここに到着するまで1週間くらいかかる恐れがあり、いざ提供しようとした時に、もう避難者がいない状態の恐れがある。
- 物資が無いということを知らない避難者が多く見られる。もっと意識付けが必要。
- 電話がかなり問題になっている。電話のかける時間が長い。当初は伝言程度だったのが、長電話をする避難者もいて、電話の取り合いになる時があるほど。きちんと決まりをつける必要がある。
- 手洗いは、使用后、水を流しっぱなしにしている。
- 協力をやわらかな口調で言ってあげることで、なんとか理解してもらう。
- 協力して自らやろうという雰囲気を作り出すことが大事。自発的になる傾向を植えつけなければならないのでは。ただ、与えられたものを受け取っているだけの状態では、自殺者も増えていくという事例（阪神大震災）がある。
- 生活のリズムを取り戻すことが必要では。朝起きて、仕事して、休憩をして、また仕事して夜休むという、今までしていたような生活を取り戻す。仕事をもっと、避難者にやってもらおう。
- 掃除から始めては？
- 進んでというのは難しいのでは。今度からは、班長を本部に呼んで、少しずつ自立を植えつけては。
- 水道とトイレの使い方のアナウンスをおこなう必要がある。
- 校長先生は、生徒の立場にもたたなければならないのでその事も考慮してほしい。
- 初日は、誰かが言ったことをやろうということになっていたが、今後は、長期的な視野で物事を考えていかなければならない。形の面と心の面を並行してつくっていかなければならないのでは。
- トイレが避難者の数に対して圧倒的に少ないので、増設が必要。汲み取りに関しても。
- 知人に頼んでなんとかしてもらえないか頼んでいる状況。

(19)

- 見通しを考えて計画をたてる必要があるのでは。
- いつまでこの施設が必要となるのか？
- ここの施設はどうなるのか？
- 名簿を1から集めてつくっているところもある。
- みんなで色々な案を出す必要がある。
- 先は見えづらいので、少しでも明るさが見える展望を持つことが必要。
- 私たち自身が率先して、身の回りをきれいにすることが必要。模範となることを見せていくことが大事。
- 人の出入りが多くなってきたのでその対応ができない状況にある。それに対して対応できない。
- ここにいないくて、食料がもらえないというクレームが多い。ここの対応をどうするか考えてほしい。
- 外から来た人たち用の食料窓口を用意してはどうか。
- 正面玄関に受付、伝言板、被災者名簿を移設できないか。
- 避難所生活の中で特別な時期だと思う。先がみえない。4年かかるかも。町内会のように自主活動ができるようにしなければならない。今後はおさまってくれば自衛隊もいなくなる、安否確認もできなくなり、そうなる。
- 各班の代表が集まってできた組織が今の組織なので、この組織を変化させて、独立した組織ができるように時間をかけてする必要がある。
- 便所掃除を朝6：00にきてしてくれる避難者の方がいた。
- 電気がつくと、避難者が増えるという見解と、東北電力さんの見解では帰る避難者が増える可能性がある。
- アナウンスで「一中と本部（給食センター）のみ」ということを付けて、ここしか電力が回復していないことを伝える意味で対処しては？
- 明日の朝に受付会場の移動を行う。朝食前にすることで、避難者の協力をあおげるのでは。
- 移動作業は 7：30
- ミーティング 7：00
- A課長を必ずミーティングに出席させてほしい。
- 施設の管理は、校長先生はできるが、避難者の管理までとなると色々な職務があるせいで難しい面がある。

【3月14日 月曜日 晴れ ミーティング AM7：00～】

佐々木校長先生より一言挨拶。

- 7：30から準備を開始。
- 8：30から朝食。
- 遠野病院から「衛生技師」である「Bさん」をスタッフとして参加。（大船渡病院にも勤務した経験あり。）
- 校長先生は、本日より生徒対応で抜けざるをえない状況になる。

(20)

- 朝、バキューム車が汲み取りにくる予定。その前に、伊東組さんでもっているポータブルトイレの設置をする。(伊東組さんの好意で)
- NTT衛星電話に関して、大型の車がNTTさんよりきて社内電話ができるような設備が整う予定。
- 電気は通電したが、自家発電機は有事に備えてそのまま残してほしいと、東北電力より通達があった。
- 「高樹園」にて電気工事をするために、一時、高田一中本部を離れる。
- 三そうの電源を移動できるか調べてほしい。IHがあるので使えるようにしたい。

【3月14日 月曜日 晴れ ミーティング PM9:20~】

佐々木校長より挨拶。

- 今日はパンが多く消化に苦勞。炊き出しの協力もあり、明日はあったかいご飯。
- 遠くから安否確認に来る方が目立った。
- 体育館は徐々に自立に向かっている。
- 他の避難所からも支援要請。特に乳幼児に関して。どこまで受け入れるかが課題。
- 比較的恵まれている環境であるため、「幼児室」としての受け入れも検討。
- 上と下でどのような区切りを設けるか。「統一した見解が必要。」
- 「幼児室」入所用の案内みたいなのが必要となるかも。
- 女性だけでなく、男性にも子供たちの相手をしてもらうなどの選択肢も。
- トイレに関しては自主的に掃除をしてくれる方々が目立ったので、自然な形で継続させたい。
- バイク便、トラックが外部とのパイプ役になってくれた。今後は彼らに物資・連絡係を任せる。
- 内部で物資の管理をする係も必要。(賞味期限、整理など)今日は中学生のボランティアに助けられた。
- 管理、運搬、連絡の認識。水道関係もそれらと近い部署としての位置づけ。
- タンクの容量は13t半~15tだが、現在、1日でも給水が滞るとアウトなぐらいの使用量であるため、節水の意識を。
- ボランティアは増加しているので、毎日呼びかけてさらに増やしながら、組織として安定させていきたい。
- 各係3~4人ほどにして、全体会、各係での検討会を設けながら運営できるように。
- 大船渡病院は受け入れ困難との情報があり、現在対策を検討中。自衛隊の協力を仰ぎながら薬品の補充など対応。
- 乳幼児室の環境があまり良くないので、毎日でも掃除が必要。(節水と有効利用)
- 外から水をもらいにきた方や、ペットボトルに入れるのは外のタンクに誘導。
- 「医療(係)」から「医療・衛生(係)」にする。
- 電気は良好。
- 技術室に仮眠室を設置。
- 各係で簡単なマニュアルを作成。対策本部に置く。

(21)

- 各系のリーダーはなるべく本部から動かず、ボランティアスタッフに動いてもらう。
- 放送室は普段は施錠して管理するなど、「放送（係）」の部署を設ける。
- Cさんに庶務に入ってもらおう。
- 格技場に畳があるので、いずれは体育館で配布し、使用する。保育園が欲しいという要望が強い。(2F?)
- 福祉事務所をここに設置するかも検討。(2F?)
- 空いているクラブハウスを物置に使用可能。
- 今後、物資は市の管理になり、必要な分だけ持ってくるという形になるだろう。
- 医療関係は事務が増えてくるので、一般のボランティアの力を借りる。乳幼児のサポートは今後も力を入れたい。
- 薬品の管理に関しては、米崎分団、赤十字、県立高田病院なども関係調整。
- 避難所の消灯は9時なので、安否確認の受付は本部で対応。
- 土足を変えたい。1000足ほどのスリッパが必要。自分の靴の管理なども。対応は衛生・管理にお願いしたい。
- 安否確認の開設時間を設定する。安否確認をいつからやめるか、本部と相談。
- 体育館前に表示板を置くなど、案内の工夫を。
- 非常時として、少し無理をしてもがんばって変えてもらう方向で。
- 明日の打合せは6時40分。正面玄関は7時開放。食事は8時半。
- 土足に関しては折衷案として、①土足厳禁、②靴を洗うか脱ぐかは個人の判断。

【3月18日 金曜日 晴れ ミーティング PM7:30~】

食事：

- 周りの協力をえてスムーズにできた。

物品：

- 7台のトラックで物品等が到着。周りの協力もありスムーズにできた。
- 個人の物品は20~30
- 水以外の飲料水で対応できるようになれば・・・
- 世帯数（鳴石？）の把握をし、水の配分を考える。外部の方には1日、20の配給をする。お茶も20配給できるようにしたい。配給の出すタイミングをいつにするか、要検討。
- 医療：緊急搬送がなく良かった。

事務：

- PCが充実してきてうまくできた。
- 出入管理をしっかり把握できるようにしたい。
- シフト表を作成。(事務班参考資料)
- ある程度の人数がほしい。

施設管理：

- 職場の鍵があった。
- ストープ等の給油は自分たちで行うようになった。

(22)

- 昼は、ジェットヒーターを切るようにし、夜はつけるようにして燃料節約に努める。
- 家族間の喧嘩あり。
- 仮設トイレ現在「32基」

電気設備：

- 問題等があれば対応します。
- 体育館のトイレ照明の設置
- 本部での事務の補佐
- 調理場の照明の設置など・・・

庶務：

- ボランティアで放送係を募集
- シフト表の作成をしましょう！
- ボランティアスタッフ、1名リタイア者がでた。電話対応係「及川さん」
- ミーティングは30分以内にしましょう。

水道：

- 水の使用量が増加。水のルールを守る感じが無い。
- ルールを無視している傾向がある。
- 本部のスタッフ全員で、違反者に注意をする必要がある。

校長先生：

- 仮設住宅設置の予定
- 駐車場関係の問題がでてくる。

【3月19日 土曜日 晴れ ミーティング PM7：30～】

物資搬入は明日のミーティングで説明

電気工事

- 施設の配電等の業務

事務

- 受付時間の確認（学校正面玄関受付） 受付時間は7:30から7:00くらいを目途に考えたい
- 質疑応答のマニュアル作成。
- 拾得物の仕分けなど、校外の場合は警察に受け渡す方向。
- 確認方法の仕方。
 - 財布、携帯等の重要取得物は本人確認ができるものを確認する。
- ご飯等の時間を教えて頂きたい。
 - 朝8：00頃 昼1：00 夜7：00頃 に出るようにならざるだけ努力する。
- 遺体安置所の質問等の回答方法について・・・
 - ただいま協議中

医療班

- インフルエンザが発生。教室移動を要請。
- マスク、うがい、手洗いなどの風邪予防を心がけるようにして頂きたい
- 風邪の症状がある場合はできるだけ日赤などの受診をして頂きたい。

(23)

- 菓等の問題発生。交通手段の確保・避難者への協力要請をお願いしたい。

食事に関するボランティアを収集

- 気心知れた人たちが集まればスムーズに食事が作れて良いと思う。
- 配膳等は良い流れでできつつある。

その他

- 衣類交換は1回行った。
- 時間帯等の打ち合わせ、スタッフの着替えの時間等を決定する。
- 他の物資の提供をしたい。今後の打ち合わせで決定していきたい。
- ゴミがたまってきました。生ゴミの処理の仕方を考えていこうかな。
- 1Cの教室に隔離。
- トイレ掃除についてはローテーションにしたいと避難者に伝えた。
- 一部はトイレの清掃に使う水にします。
- 水を運びやすい状況を作っていきたい。
- 水の消費量が安定していました。無駄な水の使用に気をつけましょう。
- 学校生徒が靴の盗難被害。上靴で自宅へ帰宅。しっかりと靴の管理を！！
- 区長会ではなく代表者会へ変更。
- 係の人員の増員を要請したい。
- 水、お湯、タオル、運ぶ方法等が整いつつあるので、出来れば体を洗う方向になれば…
- 自衛隊のお風呂が入るだろう。設置場所を検討。
- 小児科。耳鼻科を開設したい。
- 遺骨の保管場所を検討したい。
- 仮設住宅の着工をうれしく思う。
- 獣医師の方に来て頂き協力をしていただいた。
- エサ、リード、ゲイジなどをもって来て頂きました。
- 上履きの使用について、避難者と本部での連絡の食い違いあり。

(5) 避難所自治・コミュニティ形成への呼びかけ

避難所で暮らす方々に対し、避難所運営者から避難所自治に対する協力の呼びかけが何度か行われている。

ゆらぐ コミュニティ・・・私たちはどこに向かって

日本全国のあちこちから 支援の声 物資 炊き出し・・・を

大変有り難いこと

→私は、このことは将来にわたって大きな借金を背負ったことと・・・

でも、・・・だからといってそんなに気負うことはない

→どうやって返していくか？

それは、将来へと私達一人一人が 希望 夢をつなげ 現実に立ち向かい 耐え続け 生きていくこと そして やがて自活（自立）へと立ち上がることを信じているからです。

あなたたちは何をしてくれるんですか

今日はフルーツがつかないのか

ストープの灯油がないのですが・・・

おーい、ガソリン券はどうしてくれるのや・・・

歩くのがうるさい どうにかしてくれ

ハンバーグではないんですか

1000人のためなら 一人ぐらいの火傷なんて・・・

俺の寝床がない なにしてんだ！・・・とお叱りを受ける・・・

つらいけど 私たちも感情の生き物ですから、ムツとすることもあります、

あの震災がもたらした言葉と自分自身に言い聞かせています。

おはようございます

すみません 皆さんのおかげで生かしてもらっています

いつも遅くまで 有難うございます

皆さん 身体大丈夫ですか

私達も頑張ります 一緒にやります・・・との言葉も・・・

そして

乱れても乱れても・・・いつの間にか並べ返られているトイレ用のスリッパ

体育館への渡り廊下を掃いている方・・・

本を並べ直している方

ボランティアで 床屋さんを・・・ この心づかい 思いやり・・・勇気づけられます

もう気ままなことから、自己の都合に重きをおいた生活から、それぞれの違いを越えて認め合いともに私たちの生活を、そして将来のこの高田の地をつくっていく生徒たちの学習を支援していく生活を作っていくことが求められています。

(25)

それが温かい手を、支援を差しのべてくださった多くの方々の思いに 学校そして生徒たちの
思いに応えることのように思えてなりません。

皆さん！ 辛いけど 苦しいけど 個人のプライバシーも不十分ですが
私たちの「絆の丘」自治会を、「自ら動く、行動する、働く」自治会にしようではありません
か

平成 23 年 4 月 14 日 一中避難所現状と解決策

1ヶ月経って、一中の避難所はある種のコミュニティが形成された。

その中で、そのコミュニティ同士で、他のコミュニティに対する不満が生まれてきた。体育館 1F に避難しているコミュニティの皆さんは、2F に避難しているコミュニティの皆さんに対して、上から見られるとプライバシーが無く、ストレスがたまる。また、2F で子供達が走り回ると 1F にホコリが落ちてくる。2F コミュニティの方にしてみれば、避難してきた時に、寝床がなかった。だから、2F ギャラリーに移るしかなかったという方もいる。また、いまさら 2F から 1F に下がるという事で、窮屈な生活になり、ストレスがたまるという意見がある。多目的教室に避難している未就学児とその保護者の方は、他のコミュニティから見ると、環境のいい所に家族で住んでいると思われている。うらやましいという見方がされているが、多目的教室の方には、今、震災が起きて子供達の心境が穏やかではない状態で、小さな子供と親が離れ離れに生活する事が果たして、子どもたちの為にいいことなのだろうかと思う。また、体育館に移動してもいいのだが、移り住むスペースがないと断られることもある。本部にいる方々は、本部だと温かい部屋にいて、広地所に寝ていて、食事もたくさん食べられて、物資もたくさんあってなどなど、良い所ばかりみられているような偏見もあるが、震災のあった 3 月 11 日は、今の本部事務所で朝を迎えた。次の日も、次の日も事務所で朝を迎えた。水の切れそうな時、物資が滞りそうになった時など、皆でぶつかり合い、議論を重ねて対応した。また夜遅くまで避難所運営の為に作業している方もいる。残業したために、朝起きられなかった方もいる。そうやって、本部でのコミュニティも形成された。

つまり、今、震災があつてここに避難している皆さんの心が病んでいるのが原因。本当は、今、互いを信じ合い、支え合っていかなければならないのに、きちんと話あえば分かることなのに、見ず知らずの人達とは話ができない為に、余計な誤解が心の中に生じている。

これを解決するために、今一度、皆さんで 3 月 11 日を思い出してほしい。あの日、ここに避難してきた皆様は、どういう心境だっただろうか？ 生きていることの喜びを感じたのだろうか？ それもあるかもしれないが、本当は不安でいっぱいだったはず。誰かにすがりたいと思った方もいるはず。ここに、たくさんの避難者がいる事で、友人や知人、同じ境遇にいる方と出会い、さみしさや不安を少しでも絡にできた方がいたはず。そうやって、1ヶ月を過ごして、今のコミュニティができあがりました。それぞれ、意見はあると思いますが、なんとか悲しみや不安を乗り越えようと、協力してきたはず。また、協力がなければ今後もこの避難所運営は継続できません。お互いを誤解し合っているのは、何もうまくいきません。

だから、皆さんで今一度、「震災から生かされた人達」として、「この地域で育った仲間」として、互いを信じあつて、理解し合つて協力していきませんか。

(6) 避難所「絆の丘」の体制や運営規則

5月1日より、高田一中を「絆の丘」という名称で、避難所の自治会組織が立ち上がる。それまで曖昧であった避難所運営のルールを定めた。

高田第一中学校避難所



利用案内

平成23年5月1日

高田第一中学校避難所 総務班 作成

目 次

- 高田第一中学校避難所自治会運営規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～6
- 高田第一中学校避難所組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 避難所における共通理解ルール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 食事・賄いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- トイレ清掃、夕食のあとかたづけ グループ図・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 申請書等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 駐車場利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 避難所施設案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 避難所案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 一日のタイムテーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

高田第一中学校避難所自治会運営規則

高田第一中学校避難所

(目的)

- 第1. 自主的で円滑な避難所の運営が行われることを目的として高田第一中学校避難所自治会を設置する。

(運営)

- 第2. 第1条の目的を達成するために、高田第一中学校避難所運営委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成員)

- 第3. 1. 委員会の構成員は次のとおりとする。
- ・自治会の役員(村長・助役・事務局長・事務局次長)
 - ・避難者で構成する「組」の代表者
 - ・行政担当者(陸前高田市災害対策本部地区本部)
 - ・施設管理者
 - ・避難所で具体的な業務を運営する班の代表者
2. 委員会で承認された時は、町内会などの役員や継続的に活動するボランティア団体のリーダーは、委員会に出席し意見を述べることができる。

(廃止)

- 第4. 委員会は陸前高田市災害対策本部の指示する頃を目処とする避難所閉鎖の日に廃止する。

(任務)

- 第5. 1. 委員会は避難所の運営に必要な事項を協議する。
2. 委員会は、必要に応じて、所定の時間に会議を行うことにする。
3. 委員会は、具体的な業務を執行するために、避難者で編成する総務班、食事班、給水湯・環境施設班、物資・物流班、保健・衛生班及び必要となる班を設置する。
4. 各運営班の班長は、第3条1項に基づき委員会に出席する。

(役員)

- 第6. 1. 村長1名、助役2名、事務局長1名、事務局次長2名は委員会で選出する。
2. 村長は自治会及び委員会の業務を統括し、助役は村長を補佐する。
3. 事務局長は自治会及び委員会の事務局を務め、事務局次長は事務局長を補する。

(総務班の業務)

- 第7. 1. 総務班は、主として災害対策本部との連絡、避難所の管理他、別紙(各班の具体的な業務内容「業務内容」という)に関するを行う。
2. 総務班は、避難所内の秩序維持に努める。
3. 総務班は、避難所の消灯を午後9時に行う。但し、体育館等の照明を落とすだけとし、廊下・職員室など管理のために必要な部屋は消灯しない。
4. 総務班は、避難者の退所状況などを踏まえ、体育館の区画整理及び避難部屋等の移動を計画し、実行する。
5. 総務班は、電話の問い合わせや避難者の呼び出しに関するを行う。
6. 総務班は、委員会の決定事項を避難者に伝達する。

(食事班の業務)

- 第8. 1. 食事班は、避難所の救援食糧の配給の他、別紙(各班の具体的な業務内容)に関するを行う。
2. 食事班は、公平性の確保に最大限配慮して配給を行う。但し、特別な事情で、どうしても配給する場合は、役員及び委員会の理解と協力を得てから行う。
3. 食事班は、炊き出しボランティア等に関するを行う。

(給水湯・環境施設班の業務)

- 第9. 1. 給水湯・環境施設班は、避難所の給水湯・環境施設の管理及び別紙(各班の具体的な業務内容)に関するを行う。
2. 給水湯・環境施設班は、公平性・利便性の確保に最大限配慮して配給等を行う。但し、特別な事情で、どうしても配給上に支障等が生じる場合は、役員及び委員会の理解と協力を得てから行う。

(物資・物流班の業務)

- 第10 1. 物資・物流班は、避難所の物資の配給の他、別紙(各班の具体的な業務内容)に関するを行う。
2. 物資班は、公平性の確保に最大限配慮して配給を行う。但し、特別な事情でどうしても配給する場合は、役員及び委員会の理解と協力を得てから行うこととし、特別なニーズがある物資についてなど、特別な要望に対しては個別に対処する。
3. 物資班は、避難者以外の近隣の在宅被災者にも配慮しながら物資を配給する。
4. 物資班は、不要な救援物資が到着したときは、受領を拒否することができる。

(保健・衛生班の業務)

- 第11. 1. 保健・衛生班は、避難所の救護、高齢者、障害者など特別なニーズがある被災者への支援を、関係機関と連携しながら行う。
2. 保健・衛生班は、避難所内の子供の保育・活動の支援の他、別紙(各班の具体的な業務内容)に関するを行う。
3. 保健・衛生班は、トイレ・ごみ・防疫・ペットに関するを行う。
4. 保健・衛生班は、トイレ掃除に関するを行う。

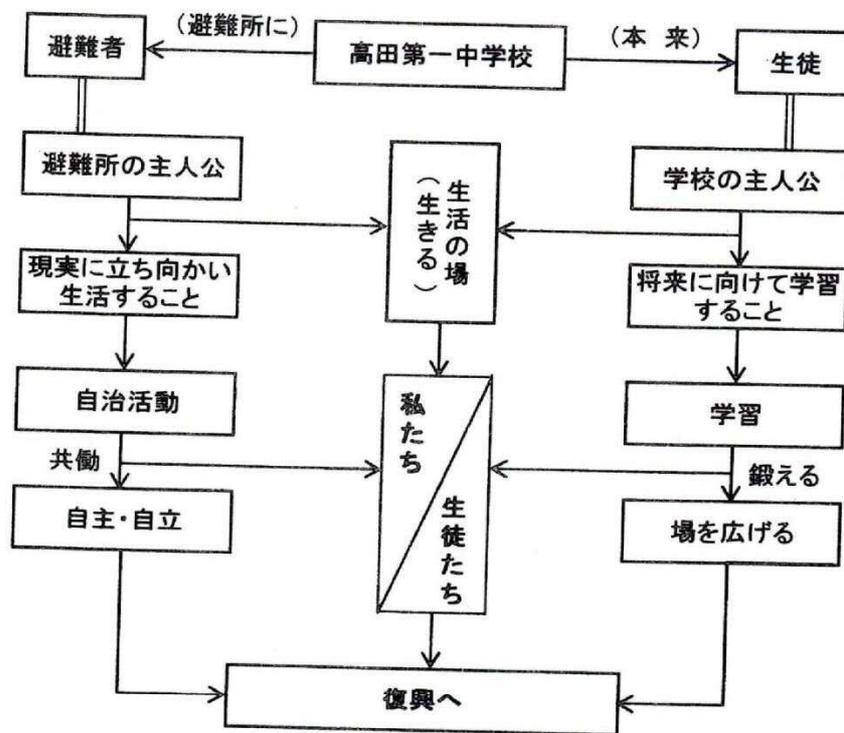
(その他)

第12. この規則にないことは、その都度委員会で協議して決める。

付則. この規則は、平成23年5月1日から施行する。

共存共栄の道(姿)

高田第一中学校避難所



高田第一中学校再開にあたり

高田第一中学校避難所

= 日は、また昇る =

◎【絆の丘】合い言葉

- 毎日、生徒たちに見られています。
 - 同じ見られるなら、いい姿を学んでいただきましょう！
- 共存共栄の【絆の丘】を共働でつくっていきましょう。
 - 問題点・課題等は、前向きな知恵で前進していきましょう！

働

- ・私たちは動きます、働きます！！
 - 生きることの第一歩は、自ら動くことから始まります。

あいさつ

- ・私たちの【絆の丘】は、あいさつから始まります。
 - あいさつは、されるよりする方になりたい。

整理整頓

- ・私たちの【絆の丘】が一番！！
 - ちょっとしたあなたの想いと心がけで…

トイレ

- ・私たちのトイレが一番！！
 - ちょっとした気づかい、心配りは、紳士淑女のマナーのひとつです。

たばこ

- ・校地内は、本来全面禁煙で！！
 - 指定された場所で(校舎外西側のブルーシートで囲われた喫煙所)
この際、健康のためにも思い切って…

約束事

- ・私たちの【絆の丘】が一番！！
 - 声をかけ、辛抱強く、一人ひとりの行いが集まれば…

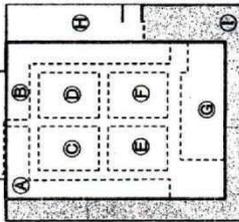
高田第一中学校避難所【絆の丘】自治会

一人はみんなのために みんなは一人のために

- ① 壳の見えない集団生活をスムーズに過ごすために、隣組の組織と、避難所の組織と、避難所で必要になる色々な仕事をみんなに分担しあって進めましょう!
- ② 自治体をお願いしなければならないことは、個人としての要望ではなく、避難所の要望を精簡して、自治体（市役所・地区本館等）に伝えましょう!

ミーティング

グループ毎ミーティング



- 自治体担当職員
- 施設長
・高田第一中学校長
- 医療機関所
・日本赤十字社
- 派遣医療従事者チーム・保健士
(各避難所の6ヶ所の実地調査相談)
- 社会福祉協議会
(介護士・ホームヘルパーの調整・高齢者室)
- 自衛隊
(給水・炊き出し・警備etc)
- 警察
- 仮設住宅

役員

- 村助
- 専務局長
- 専務局次長



運営会議

ほう・れん・そう

- ボランティア班
- 総務班 ()
- 食卓班 ()
- 給水・環境施設班 ()
- 物資・物流班 ()
- 保健衛生班 ()

班長

代表者

グループ	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
備考								キャリアー西側	キャリアー東側	就学前	高齢者
氏名											
隣組											

隣組の話し合い

避難所における共通理解ルール

市立第一中学校避難所運営委員会

避難者の皆様へ

この避難所の共通理解ルールは次のとおりです。避難する方は、守るよう心がけて下さい。

- 1 この避難所は、市が指定する避難所です。
- 2 この避難所は、市内で被災した方で、住む場所が無い方の避難所です。
 - ・訪問者の避難所への宿泊は原則できません。
 - ・但し親戚やご友人の場合、自分の居住スペースで対応できるのであれば可とします。
 - ・他人に迷惑をかけた場合は退館していただきます。
- 3 この避難所の運営に必要な事項を協議するため、施設の管理者、避難者などの代表からなる自治会及び避難所運営委員会（以下「委員会」という。）を組織します。
 - ・委員会は、必要に応じて、所定の時間に会議を行うことにします。
 - ・委員会の運営組織として、総務、食事、給水湯・環境施設、物資・物流、保健衛生班、及び必要となる班を避難者で編成します。
- 4 避難所は、陸前高田市災害対策本部の指示する頃を目処に閉鎖します。
- 5 避難者は、家族単位で登録する必要があります。
 - ・車中で寝泊まりする避難者は、4月30日までに登録した方に限り、当避難所の避難者と認めます。
 - ・避難所を退所する時は、総務（受付）に転居先を連絡して下さい。
 - ・犬、猫など動物類を室内に入れることは禁止します。
- 6 職員室、保健室、調理室など施設管理や避難者全員のために必要となる部屋又は危険な部屋には、避難できません。
 - ・避難所では、利用する部屋及び体育館等の移動を避難者の増減の状況を見ながら行います。
- 7 食糧、物資は、原則として全員に配給できるまでは配給をしません。
 - ・菓子は子供優先、高齢者優先、ケガ人優先
 - ・特別な事情の場合は、委員会の理解と協力を得てから行います。
 - ・配給は、避難所以外の近隣の人にも行います。（市の指示に基づいて）
 - ・ミルク、おむつなど特別な要望は、市立第一中学校避難所本部で対処します。
- 8 消灯について、照明は夜9時30分、TVは9時となります。
 - ・廊下は点灯したままとし、体育館などは一部を除き照明を落とします。
 - ・職員室など管理に必要な部屋は、盗難などの防止のため一部点灯したままとします。
- 9 放送は、夜8時で終了します。
 - ・学校の授業等が行われている日の全館放送は、決められた時間内の放送とし、それ以外は体育館内の放送、ならびに掲示板を通して行います。
- 10 電話は、午前7時30分から夜22時00時まで、送信のみを行います。
- 11 トイレの清掃は、朝・夕、避難者がグループごと交替で行うことにします。
 - ・清掃順番は、別紙資料の通りです。
 - ・トイレは、高齢者室及びインフルエンザ等で専門医に指示された方以外は、全員外の仮設トイレを利用して下さい。
- 12 喫煙は室内は厳禁、室外は決められた場所のみとします。なお、たき火・裸火は給湯用以外厳禁とします。
- 13 飲酒・喫煙は節度を持って自己責任でお願いします。
- 14 校舎内は上履き・スリッパをはいてください。体育館内は上履き・スリッパをぬいでください。
- 15 体育館内の1人のスペースは当面の間、1.4畳（2550×910）です。
- 16 駐車場の利用に関しては別紙資料の通りとなります。

避難者のみなさんは、当番などを通じて自主的に避難所運営に参加して下さい。

食事(賄い)について

食事(賄い)の配給は、原則として『絆の丘』自治会員と『絆の丘』で指定したボランティアの方のみとなります。

※ 来訪者・自宅避難者の方への配給はしていません。

※ 但し、市が指定した自宅避難者への配給は行います。

○体育館利用の方

・食事の要・不要は、グループ毎に毎朝8：00～9：00までに、その日の「昼・夕食」と次の日の「朝食」を配膳数確認名簿にまとめ(グループ代表者)、避難所本部へ提出して下さい。(避難所本部で取りまとめ、調理室へ報告します。)

・数量の変更がある場合は、朝9：00までにグループの代表者へ報告して下さい。

○特別教室利用の方 (乳幼児室・高齢者室等)

・配膳数確認名簿の他に、各教室で食事(賄い)「昼・夜・翌朝」の数量をまとめ、毎日午前10：30までに調理室(第一理科室)のホワイトボードに記入して下さい。

・数量の変更がある場合は、各食事の1時間前までに調理室に報告して下さい。

○車中避難者の方

・車中避難者の方は、必ず配給時間に体育館へ食事を受け取りに来て下さい。

※時間外の配給はありません。

○お弁当の配給について

・日中お仕事に出かけられる方に、パンやカップ麺等の軽食を配給します。希望者は避難所本部に申請して下さい。出勤前に避難所本部にて配布致します。

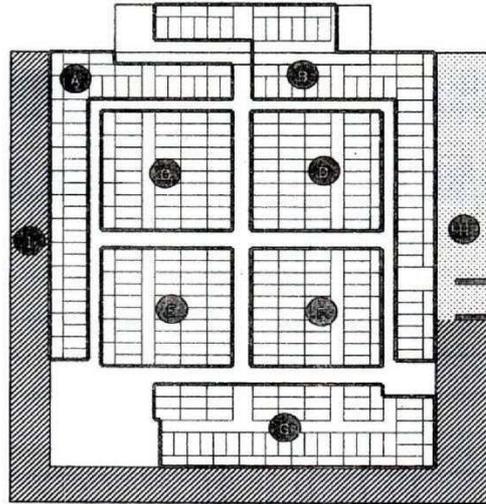
食事の配給時間

昼食 12:00頃～14:00頃迄

夕食 18:30頃～19:30頃迄

※朝食は夕食後の配給となります。

トイレ掃除・夕食後片付け
グループ図・当番表



- 多目的教室 但し、トイレ掃除、夕食後片付けの時には、西側は「E」区に
- 高齢者室

グループ人数

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
49	54	39	41	41	36	52			22	

掃除・片づけ グループ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
49	54	39	41	48	49	52			グループ 代表者	

掃除・片づけ グループ

順番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
トイレ掃除	1	2	3	4	5	6	7	8	9	各グループ 2つ組	トイレ掃除 各室
夕食後片付け	9	8	7	6	5	4	3	2	1	各グループ 2つ組	トイレ掃除 各室

当番札

トイレ

掃除当番

よろしくお願ひします。

昼・夕食

後片付け

よろしくお願ひします。

当番が終わりましたら、
この札を次のグループの
代表者に渡して下さい。

申請書等について

○入所・退所届け

入所届け

・受付にて、「入館届け」に必要事項を記入します。

入館届け		
氏名(フリガナ)	年齢	性別
住所	町字	
入館日	月	日
備考		

退所届け

・受付にて、「退出届け」に必要事項を記入します。

退出届け		
氏名(フリガナ)	年齢	性別
住所	町字	
退出日	月	日
備考(退出先)		

※入所・退所の際は、受付にて必ず上記申請書に記入・提出し、生活するスペースのグループ代表に申告して下さい。

○入館証について

入所者証

・「絆の丘」に入所している方は下記の名札を着用します。

高田一中避難所 絆の丘
区 _____ グループ _____

訪問者証

・「絆の丘」を訪問する方は下記の名札を着用し回遊します。

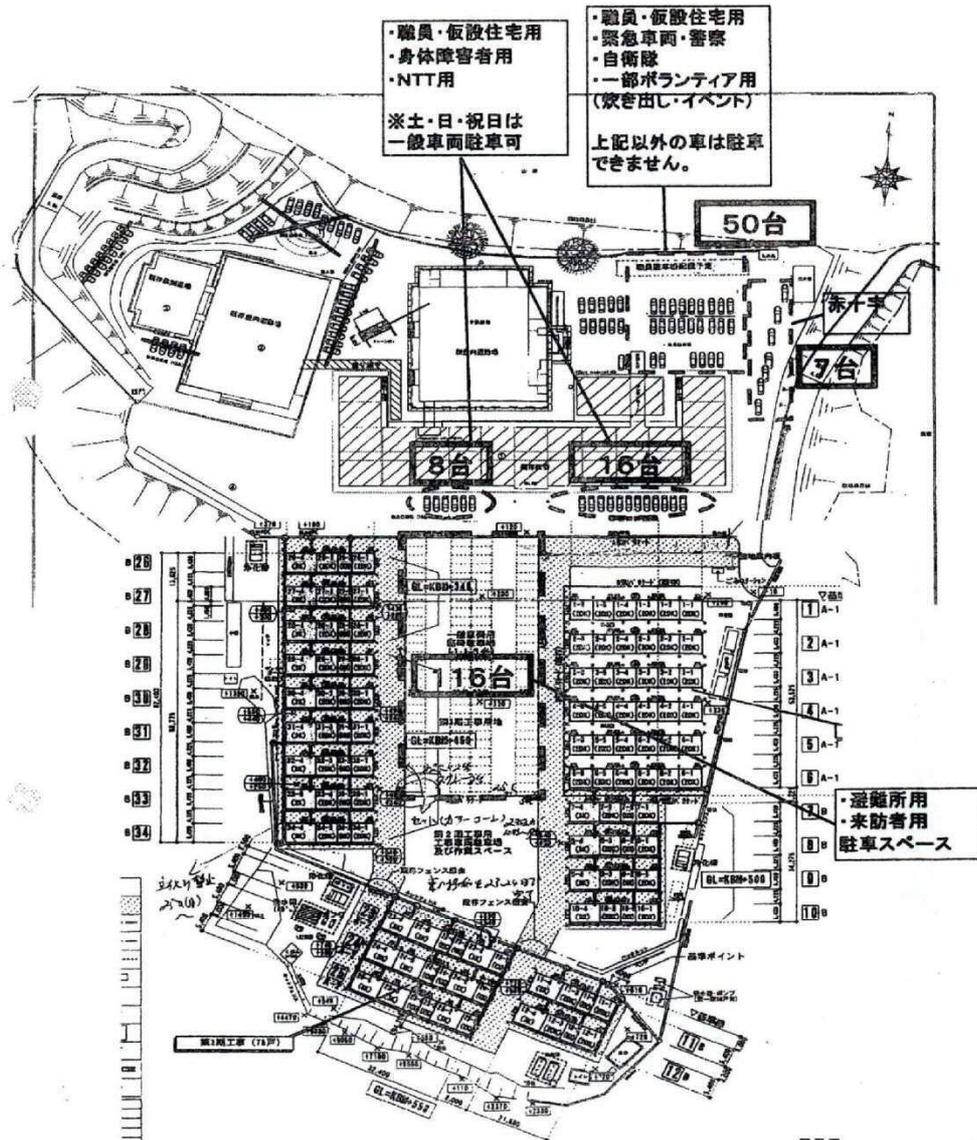
絆の丘 避難所
訪問者

○駐車場について

・「絆の丘」に入所し、駐車場を利用する際には、「絆の丘」本部にて駐車台数調査書に記入して下さい。

内容)	所有者名	車種	色	ナンバー	運送先

駐車場利用案内1



上記駐車場に駐車できない場合は、第2駐車場をご利用下さい。(次ページ参照)

駐車場利用案内2

トラロープで区画
されています。



避難所施設案内

※全体図は別紙参照

○学校教室利用

校長室、職員室、1A、1B、1C、2A、2B、2C、2D、3A、3B、3C、松原学級、
多目的教室1/3(なるせ学級)、生徒会室(大空学級)、生徒保健室

※上記の部屋は、避難者は基本利用できません。

○避難所本部 → 1F 家庭被服室

○総合受付 → 1F 多目的ホール … 利用時間 8:30~18:00

○NTT衛星電話 → 1F コンテナルーム前 … 利用時間 7:30~22:00

インターネット → 1F コンテナルーム前 … 利用時間 9:00~19:00

○病院関係

・日本赤十字社救護室(診察室・小児科) → 1F なるせ学級 … 利用時間 24時間随時
※お薬が欲しい方は、一度診察を受けた上で処方箋を出していただけます。ただし、処方されるまで2、3日を要します。

・治療室 → 1F 保健室 … 重症患者や搬送患者が利用します。

・歯科 → 1F ドリーム室 … 利用時間 9:00~12:00

・眼科 → 1F ドリーム室 … 毎週火曜日 13:00~15:00

○高齢者受け入れ室 → 1F 視聴覚室

○就学前児家族室 → 2F 多目的室

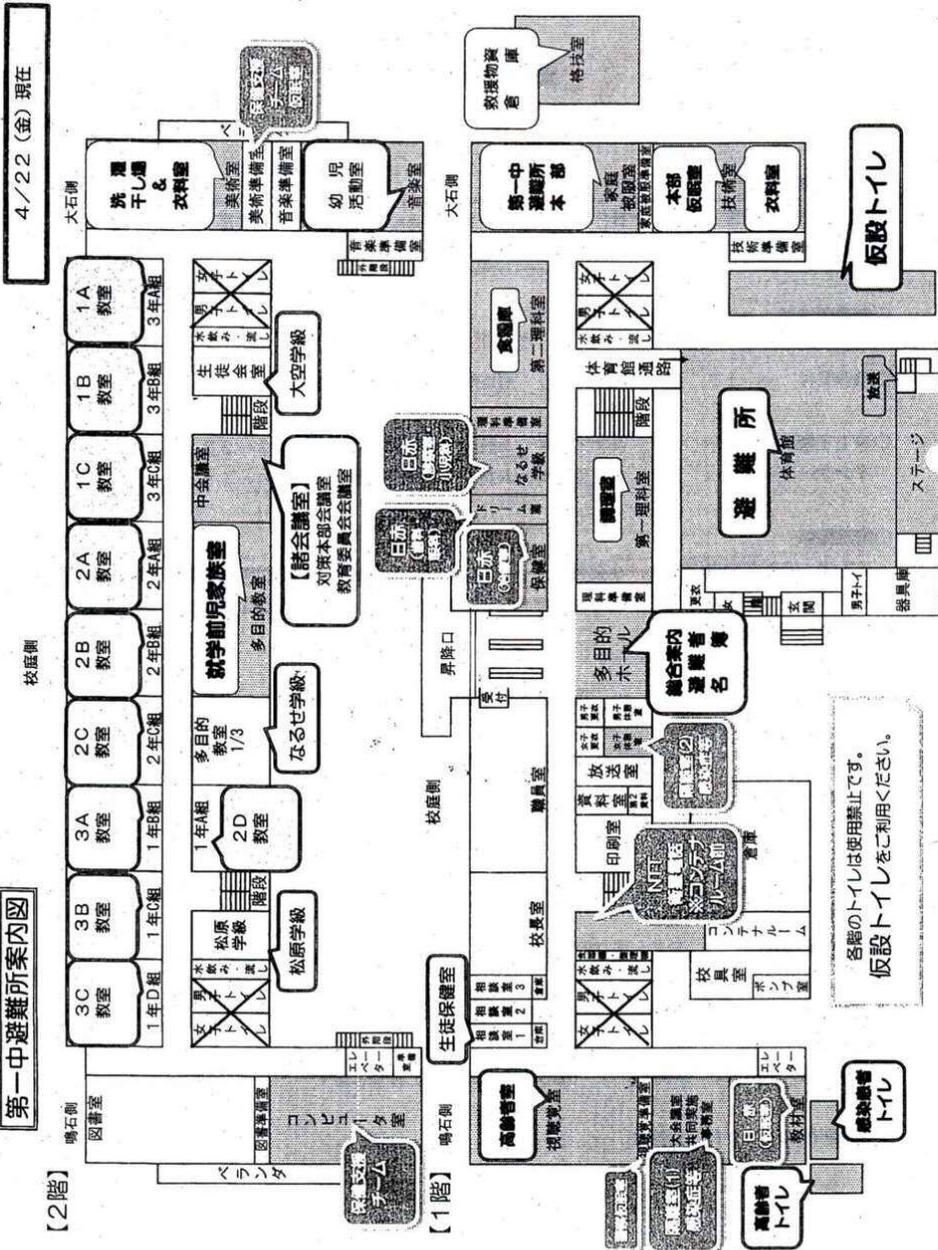
○幼児活動室 → 2F 音楽室 … 利用時間 14:00~16:00

○洗濯干場 → 2F 美術室 … 放送にて開放時間を告知します

○衣類配付 → 2F 美術室 … ”

4/22 (金) 現在

第一中避難所案内図



各階のトイレは使用禁止です。
仮設トイレをご利用ください。

一日のタイムテーブル

時刻	全体活動内容	受付	郵便	自衛隊給水	病院	NTT	幼児活動室	床屋さん	洗濯・衣類
6:00	清掃 6:30~								洗濯 洗滌 洗滌物干し場 衣類配布 美術室 ※放送にて 開始時間を告知
7:00	マシ子体操 朝食					衛星電話 開始 7:30 終了 22:00			
8:00				給水開始 8:30		無料 インターネット 開始 9:00 終了 19:00			
9:00	正面玄関 開け	正面玄関の受付開始 携帯電話の受付開始	郵便物取扱開始 9:00		歯科 診察開始 9:00 終了 12:00				
10:00					眼科 診察開始 12:00 終了 15:00				
11:00					毎週火曜日 診察開始 13:00 終了 15:00				
12:00	昼食							体音館更衣室 火・水 開始 13:30~ 状況により変更します	
13:00									
14:00							音楽室 開始 14:00 終了 18:00		
15:00									
16:00		正面玄関の受付終了 携帯電話の受付終了 (本館にて預かり)							
17:00		18:00							
18:00	夕食		郵便物取扱終了 19:00	給水終了 18:00					
18:30									
19:00									
20:00									
21:00	正面玄関締め 消灯								
22:00									

各班担当者一覧

● 総務班 (班長: _____ / 副班長: _____)

全体運営		災对本・地本との連絡・調整	
渉外全般		総合受付・案内全般	
避難者転出入		燃料全般	
被災者安否確認		パソコン運用・管理	
ボランティア登録・配置		各種ストーブ管理	
居住区割・教室利用に関すること		礼状等に関すること	
拾得物の保管・処理		週刊及び日々スケジュール	
日赤救護班との連携		活動記録報告用紙	
事務全般		コピー機・印刷	
プレス対応		郵便等に関すること	
放送全般		各種掲示物	
新聞の配分管理		特設電話・インターネットに関すること	
メッセージ等の掲示・保管		娯楽企画・実施	
〇〇〇寺子屋		週間予定企画・実施	
レクの企画・実施		お誕生日	

● 食卓班 (班長: _____ / 副班長: _____)

献立全般		配膳全般	
調理全般		在庫管理	
炊き出し(自衛隊)			

● 給水湯・環境施設班 (班長: _____ / 副班長: _____)

給排水全般(飲料・洗濯・仮設トイレ・掃除・洗面・うがい)			
給水タンク管理		洗濯干し場	
給湯全般		洗濯機運用管理	
施設・設備・電気全般		更衣室利用・管理	
ごみ・リサイクル全般		電池保管・供給	

● 物資・物流班 (班長: _____ / 副班長: _____)

食材・物資引き渡し		支援物資等の在庫管理	
支援物品等の仕訳・供給		在宅避難者配給	
生活日用品の管理・供給		他避難所への物資転送	

● 保健・衛生班 (班長: _____ / 副班長: _____)

各所消毒全般		常備薬等の保管・供給	
各所清掃全般		一日の暮らし・企画	
風呂利用に関わること		日用品等の保管・供給	
メガネに関すること		柳下床屋さん	

6 今後の課題等

◇ 防災教育や危機管理

- 日常の避難訓練の成果として、市内の小中学校にいた生徒全員が無事に避難することができた。校内で毎年行っている避難訓練は大変役に立った。
- 安全には絶対はないということから、必要以上と思われるぐらい子供の安全を最優先させること。
- 市で行っている総合防災訓練は本校が第2次避難所に指定を受けていたが、毎年避難をしてくる人が数十名であり、千人を超える避難者が来るとは想定をしていなかった。

◇ 学校設備・避難所設備

- 高田一中は避難所に指定されていたが、防災用品や用具がほとんど無く大変であった。防災用具・用品の確保とメンテナンスが必要。
- 防災用具を保管するのにどの程度の大きさが必要か認識しておくことが大切であり、避難者の人数等を想定しておく必要がある。1,500人が避難するための物資は相当な量となり、倉庫も相当な大きさが必要となる。
- 停電のため通信手段が途絶え、情報もなく連絡ができなかった。ソーラー発電を含め、非常時の電気の確保と衛星携帯電話等の常設が望まれる。NTT から衛星電話を10台ほど提供され助かった。
- 当時ラジオが入らなく、テレビの情報が頼りになる。体育館にテレビジャックがあり電子黒板に映像を流していた。もし許されるならスクリーンがあるといいが、白い壁でも役に立つ。
- 非常時には有線LANが大事になる。
- 情報が大事になり、TVが備え付けであるといい。
- 職員室から体育館が確認できないため確認出来るようなモニターなどあった方がいい。
- 出来るなら体育館に暖房施設があった方がいい。
- 毛布はもちろんだが、床で寝るためシートが必要になる。
- 照明はLEDでないと消費電力が大きすぎて太陽光発電等でまかなえない。
- 印刷物が大量に必要となる。年度末の予算消化のために用紙を購入していたことが役に立った。
- 橋が壊れたりするなどしてよほど孤立しない限り、給水車は3日後には来ると思う。ただ当日はそんなイメージがなくコップ1杯だけの水を飲んだ。水洗トイレを使うと午前中だけで貯水タンクが空になるためトイレを封鎖した。仮設の簡易トイレは必要。

◇ 避難所運営

- 組織の重要性
- マスコミ対応が大変をしっかりとしておくこと。今回、安否確認、支援物資などマスコミを通して発信した。その結果、多くの支援を全国から頂いた。大変お世話になった。そのため、生徒のプライバシーに配慮すること、また教育課程の実施に支障がない限り、取材を受け入れた。
- 出る人と入る人の把握が大変であり、毎食用意する食事の数の把握が必要。

※校長ヒアリングより整理

(47)